

大阪市立 瓜破小学校



住所 〒547-0024 大阪市平野区瓜破 5-3-11

連絡先 ☎ 06-6709-4920

☎ 06-6799-1037

校長 谷本 隆

開校 明治7年

URL <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751724>

教育目標

ありのままの自分が受け入れられ、
安心し、心満たされる居場所づくりを通して、
子どもも大人も成長できる学校をめざす

重点目標

- ・自分の課題に気づき、課題に向き合い、解決する力を育てる
- ・相手の立場を理解し、互いに認め合い、思いやる集団を育てる
- ・自他の「こころ」と「からだ」の健康に関心をもち、「いのち」を大切にする子どもを育てる

めざす子ども像

- (1) 心と体を大切にする子（健康）
- (2) 自分にきちんと向き合える子（誠実）
- (3) 思いやりのある子（親切）

運営に関する計画

【概要】

今年度は、運営に関する計画の最終年度となる。これまで学校として取り組んできた目標に対して、未達成の項目に重点を置き目標を設定したい。

「瓜破小学校安心ルール」を指導の基盤として使用し、教職員の間で一貫性のある指導をすることで一定の成果を得ることができている。一方で、様々な事情で学校に通うことが難しい不登校児童の改善においては課題が残っている。学校は児童の安全と成長を促進するために、いじめ対策や不登校支援を行い、指導方法や内容の改善を続けている。今後も、児童一人一人に合った指導を進めていく方針を継続したい。

学力においては、小学校学力経年調査の結果、第6学年が市平均を越え目標を達成したが、他の学年においては目標に至らなかった。今年度も算数科に焦点を当て、目標設定の基準を見直し、より児童の実態を把握できるように取り組む。

教育環境の充実においては、教員と児童がICTの活用慣れ親しむことで、児童の学びの充実につなげることができている。しかしながら、依然として教員の業務量の軽減には課題が残っており、更なる働き方改革の検討が必要である。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○年度末の児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。

○小学校学力経年調査において、算数科における「学力に課題の見られる児童」の割合をいずれの学年も0.5ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の50%以上にする。

○ゆとりの日(18時セット)を週に1回設定・実施し、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2(年間720時間を超えない、1か月45時間を超える月を6か月まで、1か月100時間を超えない、連続する複数月の1か月の平均80時間を超えない)を満たす教員の割合を80%以上にする。

○小学校学力経年調査において、「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%にする。

校長先生からのメッセージ

瓜破小学校は、令和6年度(2024年度)に創立150周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。学校教育目標を『ありのままの自分が受け入れられ、安心し、心満たされる居場所づくりを通して、子どもも大人も成長できる学校をめざす』とし、教職員・保護者・地域関係者が一体となって、子どもの安全・安心と、健やかな成長を中心に据え教育実践を進めています。全校児童327名全員笑顔あふれる学校をめざし、子どもたち一人一人に対し、きめ細やかで温かい指導と支援を充実させてまいります。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

校長 谷本 隆

令和6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率(%)
52	50	

●結果と概要／

国語、算数ともに全国平均を下回った。国語は15.7ポイント、算数は13.4ポイント下回っている。領域別では、国語科では「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の項目で約12～20ポイントも低く課題が多い。算数科においてもすべての領域で12～15ポイント下回っている。

いずれの教科においても、基礎基本事項の徹底と抜本的な授業改善など、今後の取り組みが大変重要であるといえる。

●取組の成果と課題／

【国語】唯一全国平均と比べ差が少なかった領域は「読むこと」である。対全国比でみて 0.77pt（昨年度：0.85pt）であり、経年では-0.8pt となった。大きく差があった部分は「目的や意図に応じて、内容を検討する」「漢字を正しく使う」「主語の関係を捉える」の項目であり基礎的な部分で課題が見られた。

【算数】 対全国比でみて 0.79pt(昨年度:0.75pt)であり、経年では+0.5pt となった。大きく差が開いたのは「数量の関係を捉え、式に表す」部分で式の関係性を読み取る部分であり国語同様に基礎的な部分で課題が見られた。

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール 投げ(m)	合計 得点(点)
男子	14.36	20.09	35.00	33.50	37.14	9.32	140.91	20.71	49.17
女子	15.57	16.62	36.90	33.17	28.21	9.98	126.21	12.50	49.00

●結果と概要／

男子は「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」で全国平均を上回った。女子は全種目で全国平均を下回っている。体力合計点においては全国の差は5ポイント差以内であり、ここ数年では最も良い結果となった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いでは男子は全国と差はないが女子においては最も肯定的な『好き』と回答した児童は30%（全国50%）と大きな開きが見られた。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は男子5%（全国9.2%）女子26.3%（全国16.0%）となりここでも男女での差が見られた。

●取組の成果と課題／

【成果】

男子は「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」で全国平均を上回り、ここ数年では最も良い結果となった。それについては授業等工夫した取り組みに加え、工事などもなく運動場がフルに使えることで、外で遊ぶ機会が増えたことが大きい。また、普段の生活でも男子は外で遊ぶことが多い学年ということもあり、このような良い結果が得られたと考えられる。

【課題】

アンケート結果にも表れているが、女子は外遊びをあまりしない学年ということもあり、このような結果となったと考えられる。今後も体育科のさらなる授業改善や工夫に取り組んでいく。また、体育委員会の児童を中心とした外遊びの企画や学級活動における「みんなあそび」などの取り組みを充実させ、普段から体を動かす習慣を促すようなきっかけづくりにも取り組みたい。

学校の特徴

「瓜破小学校 安心ルール」

瓜破小学校では、あらかじめ児童に「見たい姿」を明示することにより子どもたちが自らを律することができるよう「瓜破小学校 安心ルール」を作成しています。

[illegible]

温かい地域力「うりっこまつり」

地域の皆様には、毎日の安全な見守り活動をはじめ、子どもたちのために支援や協力をしていただいています。毎年、PTA 主催で地域にも協力してもらい「うりっこまつり」を開催しています。綿あめ、おでん、ポップコーン、射的、スーパーボールすくいなど、たくさんの模擬店が出ています。

